



川西市は、兵庫県の東南部に位置し、人口16万人の都市で、市域が東西に狭く南北に細長いのが特徴です。970年(天禄元年)に「源満仲公」が、川西の地に多田院(現在の多田神社)を創建したことから本市は、「清和源氏発祥の地」と言われております。また、4

月には源満仲公をはじめ、源氏ゆかりの武将など約600人が多田神社周辺を練り歩く懐古行列が開催されます。

1336年(建武3年)足利尊氏は九州多々良浜の合戦にあたり、源氏ゆかりの多田神社の由緒を伝え聞いて、これを崇したといわ



川西市源氏まつり 懐古行列

れています。川西市にある多田神社には、多くの古文書・宝物が残されていますが、そのうち建武3年3月25日付の尊氏戦捷祈願の御教書があります。

1358年(延文3年)、尊氏が没すると息子の義詮は、父尊氏の遺骨を多田院に納めました。歴代足利将軍の没後は、その分骨が納められるなど、多田院は足利氏より篤い崇敬を受け、栄えました。

■行事

- 4月第2日曜日
川西市源氏まつり
- 8月第3土曜日
猪名川花火大会



多田神社御本殿

- 10月第1土曜日
川西おもろ能
- 11月第3土曜日
川西一庫ダム周遊マラソン大会